

氏名	尾 嶋 有 美
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3133号
学位授与の日付	平成9年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	加齢黄斑変性における脈絡膜循環異常の臨床的研究
論文審査委員	教授 増田 游 教授 大本 堯史 教授 松井 秀樹

### 学位論文内容の要旨

加齢黄斑変性 (AMD) の患眼49例51眼を対象に、走査レーザー検眼鏡を用いてインドシアニングリーン蛍光眼底造影を行い、脈絡膜新生血管 (CNV) 以外の異常所見とその異常所見に關与する因子について検討した。その結果、脈絡膜血管からの漏出が8眼 (15.7%)、脈絡膜毛細血管の充盈不良が5眼 (9.8%) に認められた。脈絡膜血管からの漏出は、患者の年齢および病型と関連していた。すなわち年齢が若い、あるいは初期病巣である症例に有意に認められた。また充盈不良がみられたものは、罹病期間が有意に長期であった。以上より、AMD において、CNV の発生あるいはその活動性の持続に、脈絡膜循環異常が關与している可能性が示唆された。

### 論文審査結果の要旨

本研究は、加齢黄斑変性49症例51眼について、走査レーザー検眼鏡を用い、インドシアニンググリーン蛍光眼底造影を行い、その血管からの漏出や充盈不良を観察し、従来脈絡膜異常所見といわれている新生血管以外の異常所見とそれに関与する因子について検討した。

その結果、脈絡膜血管からの漏出が8眼 (15.7%) に、また脈絡膜毛細血管の充盈不良が5眼 (9.8%) に認められた。その漏出は、年齢が若いこと、またこれが初期病巣である例に有意に認められ、充盈不良は、罹患期間が有意に長いものにみられた。

以上から、加齢黄斑変性では、各種異常所見の発生や症状持続に、脈絡膜循環異常が關与していると考えられた。

この結果は、脈絡膜循環異常と眼疾患との病因的関わりを明らかにする価値ある業績と認め、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認めた。